



マンスリータイムズ

南部高校龍神分校 平成25年7月

龍神魂で龍神旋風

夏の甲子園を目指し7月13日1回戦で**桐蔭高校**と対戦しました。強豪校相手に最初は少し押されたものの、終わってみればエース**小川穂高**が1安打完封に抑え快勝しました。18日2回戦対**貴志川高校**戦では、打線が爆発し11対4でコールド勝ちをしました。22日3回戦では、**日高高校**に3対2で接戦をものにし、創部以来初めて**ベスト8**に入りました。まさしく**龍神旋風**です。3度も**分校賛歌**を選手も応援団も歌うことができ目頭が熱くなりました。24日準々決勝では**中津分校**と分校対決が実現しました。初回に**柳瀬尚哉**のヒットをかわきりに、主将**中田涼太**のスライズで1点を先制。2回には**小川祐一郎**の四球から**阪本元**の3塁打で1点、柳瀬の中前打で1点の計2点をあげ上々の滑り出しとなりました。3回に8点を入れられ（球審の判定には首をかしげなくなった）逆転されたものの、4回に1点、6回に2点を取り、猛反撃となりました。さすが龍分野球です。スタンドの観客もテレビの観戦者も一同に粘りの龍分野球にきっと感動したと思います。最後まで全力でプレーした選手たちに笑顔で大きな声で伝えたい。「お疲れ様！感動をありがとう！」と。



龍神魂応援団

18日の全校応援も、他の3日の応援も、気持ちのこもった応援を展開してくれました。龍神中学生と小学生、少年野球のメンバーも加わってくれました。**中島啓輔応援団長**の日ごとにたくましくなっていくエールに加えて、**新谷芝崎**両名の熱の入った太鼓たたきも筆舌しがたいほど素晴らしいものでした。ヒットを打った時の入魂肉声ファンファーレはどの吹奏楽の応援にも負けていません。普段おとなしい生徒が「〇〇打て！〇〇行け！」と大声で叫んでいる場面も印象的でした。エラーをした選手に「大丈夫、任さんかい」と言っているがごとく笑顔でボールを受け取る場面を見た応援女子生徒達が「感動した」とバスで話していたそうです。勝ち進むにつれ、応援生徒の表情もいきいきとしてきました。野球部24名と応援生徒達全員の気持ちが一つになったように感じました。今後の学校生活もこの**絆**です！



龍神村大応援団

1回戦の18日こそ1台の応援バスでしたが、2回戦からは2台のバスになりました。多数の方が、行きの中で「今日も勝つ」、帰りの車中では「ナイスゲーム」と意気揚々と話が弾んでいました。4日間で計104が応援隊に参加してくれました。自家用車で応援に駆け付けた方も多数ありました。特に準々決勝の中津分校との分校対決では、400人もの龍神大応援団がスタンドを埋めつくしていました。「龍神分校野球部、よく頑張った！元気をくれてありがとう！」等の声をいただいています。龍神のみなさん、4日間お疲れさまでした。大きな応援ありがとうございました。また多数の方々から寄付および寸志を頂戴しています。心より感謝申し上げます。世話人の方々にも御苦労をおかけいたしまして申し訳ありません。本当にありがとうございました。今後とも龍神分校をよろしく願います。

チャレンジ事業

7月27日（土）～29日（月）に恒例の小学校5年生自然生活チャレンジ事業が行われます。本分校生徒7名が高校生リーダーとして参加します。3年生の**安達君、新谷君、水原君**と1年生の**池田君、姿本君、安達さん、岩本さん**の7名です。リーダーとして頑張ってください。